

吉川市

市制施行30周年記念式典

 Yoshikawa City 

The 30th Anniversary Ceremony

令和8年4月19日(日)

午後1時から

ハッピードリームサーカス吉川公演
特設会場

市制施行30周年を迎えて



吉川市長
中原 恵人

平成8年4月1日、北葛飾郡吉川町から市となり、埼玉県内43番目の市として誕生した吉川市は、令和8年4月1日に市制施行30周年という節目を迎えました。

市制施行当時、約5万3千人だった人口は、吉川美南駅西口や吉川中央地区の開発などのまちづくりの推進により、現在では約7万2千人となり、第6次総合振興計画で定める将来都市像「幸せつながる みんなのまち よしかわ」に向けて、日々、歩みを進めています。

この10年間においては、平成から令和への元号改正、新型コロナウイルスの感染拡大など、社会に大きな変化があった中でも、新庁舎完成、吉川中学校開校、吉川美南駅東口開発など、様々な大規模事業を実現することができました。

これもひとえに、先人をはじめ、多くの市民、関係者の皆様のお力によるものであり、改めて、これまで本市の発展にご尽力を賜りました全ての皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

今後も、市民一人ひとりが幸福を実感でき、持続可能である、そんな「価値ある未来」を、皆様と共にこの吉川市に創り上げてゆけるよう、全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



吉川市副市長
篠田 好充

市制施行30周年という節目を市民の皆様とともに迎えられたことを職員一同大変嬉しく思います。これまで地域や暮らしを支え、本市の発展に貢献された市民の皆様、先人の皆様に心から感謝申し上げます。

私は、昭和57年に吉川町役場に奉職し、以降44年間にわたり吉川町、吉川市とともに歩んでまいりました。平成8年に深井市長の下、一職員として迎えた市制施行の記念すべき日は、大変印象深く忘れがたい経験であり、その日から30年の節目をこの記念式典の場で多くの皆様と共にお祝いできることは、誠に慶賀の至りであります。

これからも市民の皆様にあされる吉川市、愛着と誇りを持って住み続けたいと思える吉川市を目指し、更に魅力溢れるまちづくりに邁進し、本市の発展と皆様のご多幸を心より祈念申し上げます。



吉川市教育委員会教育長
清水 孝二

市制施行30周年の節目を迎えるに当たり、これまでの歴史の重みを実感し、子どもたちを見守り育ててくださったご家庭、地域の皆様をはじめ、全ての関係者の方々に感謝申し上げます。

「吉川市教育大綱」では、「家族」「郷土」「志」をキーワードに掲げ、未来を担うすべての子どもや若者が、豊かな心や未来を切り拓く力を身に付け、健やかに成長できるまちづくりを目指しています。

教育においてこの30年を振り返ると、美南小学校と吉川中学校の新設開校、新型コロナウイルスによる前例のない一斉休校を余儀なくされ、教育活動の休止やICT教育の推進など大きな転換期でもありました。その中で、無事に学校運営ができましたのも皆様のご尽力のおかげでございます。

吉川市が歩んできた歴史という財産をこれからの未来を背負う子どもたちに引き継ぐため、記憶と記念に残る一年間となるよう皆様と協力し、全力で努めてまいります。

プログラム

- ◆ 開式のことば
- ◆ 式辞
- ◆ 来賓祝辞
- ◆ 来賓紹介
- ◆ 祝電披露
- ◆ 表彰状の授与
 - ◆ 吉川市市制施行30周年記念表彰
 - ◆ 吉川市市制施行30周年記念ロゴマーク作者表彰
- ◆ 記念式典サーカス特別公演
- ◆ 閉式のことば

吉川市の主な出来事



深井 誠市長
[1987年-1999年]

1996年
(平成8年)
4月

市制施行、吉川町から
吉川市へ(人口53,443人)

1

5月

米国レイクオースエゴ市との
友好姉妹都市提携に調印

2

1997年
(平成9年)
4月

岩手県室根村(現在の一関市)
との友好提携盟約に調印

3



戸張 胤茂市長
[1999年-2015年]

1999年
(平成11年)
4月

市民交流センターおあしす、
市立図書館が開館

4

2019年
(平成31年)
4月

「きぼうの桜プロジェクト」
により宇宙を旅した種から
育った宇宙桜(きぼうの桜)
を閔公園に植樹

9

5月

市役所庁舎移転
(吉川二丁目↓きよみ野一丁目)

8

2018年
(平成30年)
3月

「吉川市における幸福実感向上
を目指したまちづくりのため
の産業振興基本条例」制定

7月

「全国なまますサミット・
なますの日」とすること
を一般社団法人日本記念日
協会が認定登録

7

6月

「吉川美南駅東口周辺地区
土地区画整理事業」の
事業計画を決定

2017年
(平成29年)
3月

「吉川市教育大綱」策定
「家族を郷土を愛し志を
立て凜として生きてゆく」

2019年
(令和元年)
12月

「吉川市手話言語条例」制定

10

2020年
(令和2年)
4月

市内4校目の中学校となる
「吉川中学校」開校

11

2021年
(令和3年)
7月

東京2020オリンピックの
聖火リレーが市内を走る

12

8月

「吉川中央土地区画整理事業」の
換地処分に伴い、区域内の町名
を「中央」に変更

2022年
(令和4年)
3月

「吉川市文化芸術基本条例」制定

13

8月

都市計画道路路越谷吉川線
「吉川橋」開通

2023年
(令和5年)
10月

アクアパーク再整備事業として、
バスケットボールコートと
アートのリノベーション

14

2024年
(令和6年)
10月

吉川駅北口駅前広場
改修工事に着手

2004年
(平成16年)
10月

第59回国民体育大会
「彩の国まごころ国体」
ハンドボール競技
少年女子の
競技会場となる

5

2010年
(平成22年)
11月

吉川市イメージキャラクター
「なまりん」を発表

6

2012年
(平成24年)
3月

市内2駅目となる
JR武蔵野線
「吉川美南駅」開業

2013年
(平成25年)
4月

市内8校目の小学校となる「美南小学校」開校、
(複合施設として公民館、高齢者ふれあい広場、
子育て支援センター、児童保育室を併設)

2016年
(平成28年)
4月

市制施行20周年を迎える
(人口71,179人)
・PFI方式により整備された
学校給食センターの
事業運営を開始



中原 恵人市長
[2015年-現在]

2015年
(平成27年)
2月

人口7万人に到達

11月

なまずの石像
「なまずモニュメント」を
吉川美南駅東口駅前広場内に設置

2025年
(令和7年)
2月

都市計画道路越谷吉川線
(中井工区)が開通し、
吉川市域全線が開通

15

2026年
(令和8年)
3月

三輪野江地区初の公園として、
大沢雄一元埼玉県知事邸跡地を
「みわのえこどもの杜(もり)」
に整備

16

4月

市制施行30周年を迎える



1 吉川市開市式
(1996年4月)



9 きぼうの桜を植樹
(2019年4月)



2 レイクオスエゴ市との
友好姉妹都市調印式
(1996年5月)



10 手話言語条例を制定
(2019年12月)



3 岩手県室根村との
友好提携盟約に調印
(1997年4月)



11 吉川中学校開校
(2020年4月)



4 市民交流センターおあしす、
市立図書館オープン
(1999年4月)



12 東京2020オリンピック
聖火リレーが市内を走る
(2021年7月)



5 彩の国まごころ国体
(2004年10月)



13 文化芸術基本条例を制定、
演劇プロジェクトの様子
(2022年3月)



6 イメージキャラクター
「なまりん」を発表
(2010年11月)



14 バスケットボールコート
をアートでリノベーション
(2023年10月)



7 なまずの日認定、なまずサミットや
記念イベントを実施
(2017年7月)



15 都市計画道路越谷吉川線
(中井工区)が開通
(2025年2月)



8 市役所新庁舎
(2018年5月)



16 大沢雄一元埼玉県知事邸跡地を
「みわのえこどもの杜(もり)」
に整備
(2026年3月)

吉川市市民憲章

わたくしたちは、自然の恵み豊かなこの伝統ある吉川市民であることに誇りと責任をもち、より明るく住みよい郷土の建設をめざし、全市民の願いをこめたこの憲章を守り、心あわせて平和なまちを築きましょう。

1. 自然を愛し緑豊かな美しいまちをつくりましょう
1. 教養を高め心豊かな文化のまちをつくりましょう
1. おもいやりにあふれた明るい福祉のまちをつくりましょう
1. 働くよろこびに満ちた豊かなまちをつくりましょう
1. きまりを守り明るく住みよいまちをつくりましょう

吉川市市制施行 30 周年記念ロゴマーク表彰



デザイン原画



決定までの経緯

市内の小中学生からロゴマークデザインを募集し、158点の応募作品の中から最優秀作品として記念ロゴマークが決定しました。

ロゴマーク作者

さいとう かなう
齊藤 叶さん
(決定当時中曽根小学校6年生)

市長、教育長からロゴマーク決定の報告



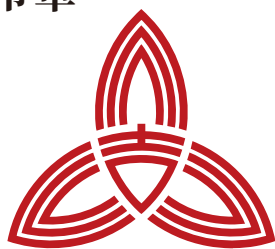
左から清水教育長、齊藤さん、中原市長

地名「吉川」の由来

吉川市の東に江戸川、西に中川が流れ、川で栄えた歴史をもち、吉川は吉河とも書きます。

その川にアシが多く生えていたことから、吉川の名義は芦川の意とされ、芦の訓はアシであるから悪（アシ）と聞こえるので、芦をヨシともいい、「芦」に当てるに「吉」の文字を持ってしたことが由来の一説とされています。

市章



昭和30年に吉川町、旭村、三輪野江村の3カ町村合併に伴い、町章を町民から募集し制定しました。

中央に「吉」の字、三方に「川」を配し、3カ町村合併のよろこびを熨斗目（のしめ）に図案化し、融和と協調、のびゆく吉川市を表現しています。

吉川市イメージキャラクター なまりん



「なまりん」は平成22年11月21日に誕生した吉川市のイメージキャラクターです。市の特産品であるなまずをモチーフとした女の子です。名前はなまずの「なま」に明るい女の子のイメージの「りん」を付け、小さな子どもから大人まで親しみを持って呼びやすいようにと名づけられました。

市の名産品「なまず」



市の木「もくせい」



市の花「さつき・つつじ」



祝



吉川市 YOSHIKAWA CITY